

校旗



宮沢中学校校歌
 作詞 結城哀草果
 作曲 下総 皖一
 一朝日に薰る東山
 美しき雲 睦み合ひ
 空気と水の澄む郷に
 生をうけたる若人ら
 心正しく学ぶかな
 宮沢中学 栄えあれ
 二個性をなから流れ来る
 丹生と赤井の奔流が
 注ぎあいつ、洋々と
 ゆたけき村の 若人ら
 心明るく 学ぶかな
 宮沢中学 栄えゆく
 三緑の山がめぐりたる
 三吉ヶ原の 高台の
 礎堅き 学校に
 楽しく集ふ 若人ら
 希望大きく 励むかな
 宮沢中学 輝けり
 昭和十五年九月
 白嶺書

校歌



作曲 下総皖一先生



作詞 結城哀草果先生

宮沢中学校校歌

結城哀草果 作詞
 下総皖一 作曲
 楽しく 徹切れよく ♩ 108

1. あさひにかおる つかしやまう つくしー きくもむ
 2. とせいななから なかれたるに ふとあー はいのほた
 3. みどりのやまか めぐりたるに よしがー はいのほた

つんか みのうーかの くろきとみずー のすま
 かな だーいー いそしえかたー のつきま

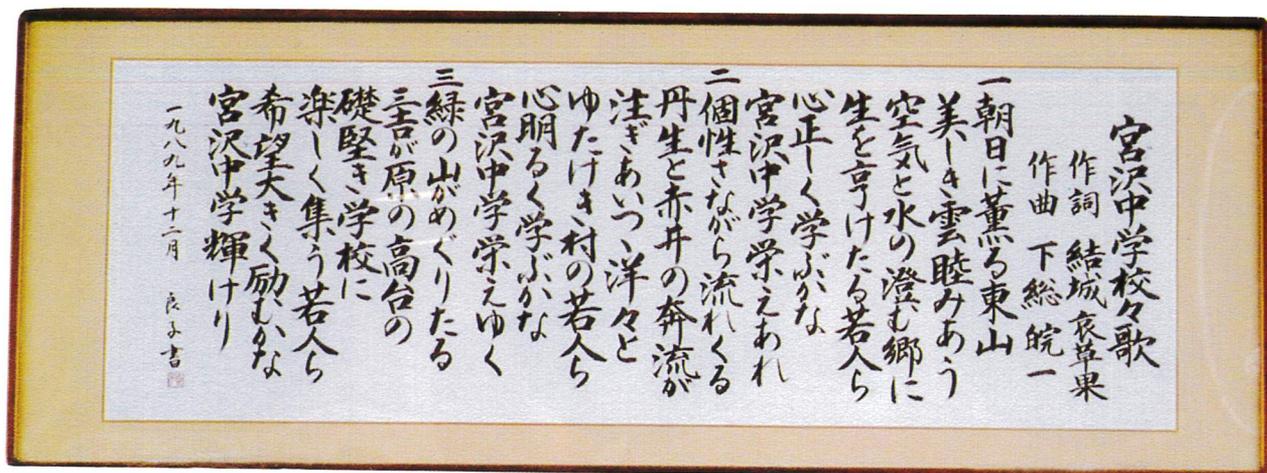
ななな みやざわうがく さかあゆけ
 ななな みやざわうがく さかあゆけ



校章デザイン 手塚又四郎先生



校章原図



校 歌

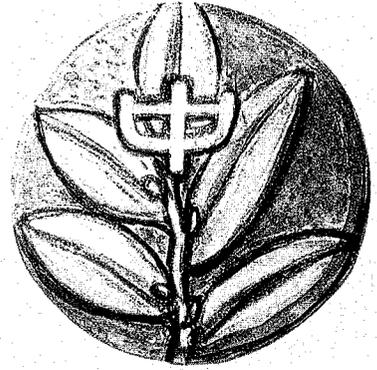
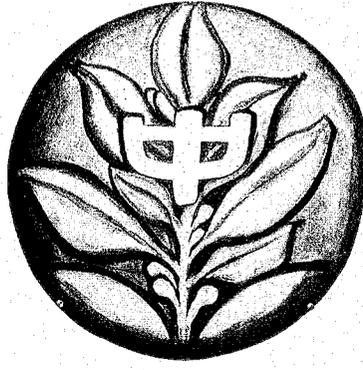


作曲 下総皖一先生



作詞 結城哀草果先生

第四節 校章制定



順徳天皇の御陵と伝えられる天子塚は、別名「榊塚」とも言った。校章は、この来歴ある場所にふさわしいものをと、PTAの要望により、榊に中学の中の字を配することに決定した。

図案は、山形大学教授で彫刻家の手塚又四郎先生の手になるものである。阿部尹夫校長の山形師範学校時代の恩師、生駒永雄先生を通じてデザインを依頼したものである。

校章を制定するため、村当局に資金の相談にあたったが、榊とは、どんな樹木か実物を見た人は一人もいなかった。物流の発達した今でこそ、花屋には生け花用や、玉串用など神式葬儀用にもでも求めることができる。榊は暖地の樹木であり、天子塚の森に自生するのは「ひさかき」である。それではと、植物学者である福岡高等学校の結城嘉美校長に教えを乞うことにした。結城先生の手もとにもなく、山形市の四山楼という料亭にあるはずだと教えてくれた。井上正蔵村長と阿部校長は早速見に行った。奥庭に祭のそばに植えてあったのは、榊ではなく玉椿であった。結局、東京から来ておられる手塚先生御自身の手により探してもらい図案化していただいた。

図案は、三通り作成されて送られてきた。三図案の中から、生徒・職員の希望と、昭和二十八年十二月二十三日のPTA役員会の意見とを合わせて、写真中央の図案に決定した。

手塚又四郎先生は、昭和三十三年三月まで山形大学教育学部に奉職された。かつての同僚であつ

た毛利健治名誉教授の話によると「手塚教授は中央でも名の通った造形美術界の大家で、地方の大学に赴任するような方ではなかった。学会での意見の対立から都落ちしたものであった。」ということである。

手塚先生は、明治三十六年、栃木県今市市に生まれた。昭和三年、東京高等師範学校卒業、昭和二十一年、東京高等師範学校教授、二十七年、山形大学教授に就任、三十三年四月京都学芸大（現京都教育大）に移られ、四十二年三月定年により退官後、立正女子大教授となり、昭和四十六年五月逝去されている。

その間、国際美術教育連盟国際委員、FEA「造形教育」岩崎書店、「ヨーロッパの美術教育」えくらん社、「世界の美術教育」美術出版社などの著書、並びにヨハネス・イッテン著「色彩の芸術」美術出版社などの訳書がある。

新春を迎えた昭和二十九年一月一日、午前十時より、体育館において、新年祝賀式と創立三周年記念式典が催された。その佳き日をもって校章制定の日と定められた。

「さかき」は、特に目立つ樹木ではないが、陽かげにもよく育ち、寒さにも耐え、真冬になっても青々とした葉をたたえ、たくましく生きぬく樹木である。この「さかき」のように、たくましい人間に成長するようお願いを込められているのが宮沢中学校の校章である。

宮沢中学校校歌 (混声三部合唱)

結城 哀草果 作詞
下総 皖一 作曲

楽しく 爽切れよく J=108

11 あさひにかあるひがしやまうつ くしきくもむつ みあー
2 こせいさながらながれるゆう とあーかいのほん りゆうー
3 みどりのやまがめぐりたるみよ しがーはらのたか だーい

うがの くろきとみずー のすむさーとーにとー せゆた
をそいし ずえかたー きまうな びーやーに

いもうけたるあわ ー うどいらら こころただしくま
たけきむら のうわ ー うどいらら こころあかるくま
のしくつど ー ー うどいらら きぼうおおきくま

なぶか な な な な な な な な な な
なぶか な な な な な な な な な な
げむか な な な な な な な な な な

みやざわ中がく さかえあれ
みやざわ中がく さかえあれ
みやざわ中がく さかえあれ

宮沢中学校校歌

作詞 結城 哀草果
作曲 下総 皖一

三	二	一
宮沢中 学 輝けり	心明るく 学ぶかな	宮沢中 学 栄えあれ
緑の山が めぐりたる	丹生と赤井の 奔流が	個性さながら 流れくる
三吉が原の 高台の	注ぎあいつの 洋々と	丹生と赤井の 奔流が
礎堅き 学校に	ゆたけき村の 若人ら	心正しく 学ぶかな
楽しく集う 若人ら	生を争けたる 若人ら	心を争けたる 若人ら
希望大きく 励むかな	空気に水の 澄みあう	美しき雲 睡みあう
	朝日に薫る 東山	朝日に薫る 東山